

令和2年度 榛原中だより

6月号

令和2年 6月23日(火)

(<http://www.haibara-jh.ed.city.uda.nara.jp/index.html>)

学校目標

『一人ひとりが活躍できる榛原中』
～目標を持ち主体的に生きる生徒の育成～

(文責：山本)

新たな生活様式

6月1日より学校が再開され、「新たな生活様式」での学校生活がスタートしました。6月5日の一斉登校では、久しぶりにクラス全員が顔を合わせ、みんな笑顔、笑顔でした。この日には、私から皆さんに学校再開にあたってのメッセージも放送を通じて伝えました。授業中の声が、校舎に響く日がようやく戻ってきました。「新たな生活様式」での学校生活は、3密を常に意識しながらの生活なので、少し「窮屈さ」や時には「めんどくささ」を感じる時があるかもしれません。新型コロナウイルスに「感染しない」・「人に感染させない」ための生活の一部と考えて継続して取り組んでほしいと思います。

また、今月8日からは、部活動や給食も始まりました。給食の配膳には、今まで以上に感染予防に努め、手洗いを徹底し、安心安全な給食を心がけました。1年生にとっては、中学校での初めての給食は、どうでしたか？「量は？」、「味は？」

部活動も同じく8日から、再開されました。3年生にとっては、中学校総合体育大会が中止となり、それに代わる試合を模索中ですが、皆さんが今まで積み上げてきたものは、今後のステージできっと生かされると思いますので胸を張って最後まで取り組んでくれることを期待しています。部活動再開にあたってのメッセージを載せます。(一部省略)

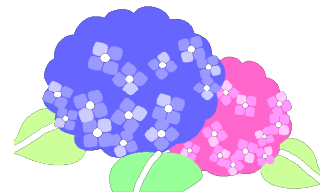


3年生にとってはこの最後の大会を目標に努力を続けてきたといっても言い過ぎではないと思います。そして、目標を叶えることをゴールとする気持ちは理解できます。が、それ以上に、努力を継続した結果として目標が叶っていたという見方・感覚を大事にしてほしいなとも思います。たしかに、県総体は中止になりましたが、皆さんが今まで努力したものは決して失われるものではありません。これまで、チームとして個人として努力を続け、戦ってきた皆さん一人ひとりの頑張りは、自分自身が一番よく分かっていると思います。そういう点では、『自分自身を褒めてあげて下さい』。今後、次なる目標をすぐに決められないとは思いますが、「目標を持ち続ける」ことが「より精神的に強くなる」ことにつながることも経験してほしいなと思います。

また、チームとして、これまで頑張った皆さんは、「絆」を大切に、「一体感」を感じながら頑張ってきたことだろうと思います。が、より深い「絆」や「一体感」は、「ネガティブなきっかけから(うまくいかない事をきっかけに)、みんなの気持ちをひとつにして克服できる」ことから生まれると思います。県総体がなくなったことが、逆に「残された期間で自分達ができることを見つける」そのことに気づけたら、それは今後も皆さんの人生にとって大きな強みになるのではないのでしょうか。

運動部活動に所属している人たちだけではなく、文化部に所属している人にとっても、4・5月部活動が全く行われなかった期間となりました。やっぱり部活動がしたいなと思った人もきっといると思います。

節目となる試合や大会が中止になりましたが、それに代わる試合を今模索中です。競技によって異なると思いますが、3年生にとっての最後の試合ができる競技もあれば、最終的にできない競技もあるかもしれません。何とか節目となる試合や大会ができるよう関係機関にお願いしているところです。どうか、試合や大会が最終的にあってもなくても、自分たちががんばってきたことに胸をはり、残された期間で「自分」が、「チーム」ができることをめざして頑張りましょう。そうすれば、そのような頑張り、次のステージできっと生きてくると確信しています。



6月10日『梅雨』に入りました。『梅雨』時は、紫陽花(あじさい)の花が雨に映える季節ですね。皆さんの周りでも、紫陽花の花が見られますか？5月はあまり雨の降らない時期でした。6月は、雨が多い季節ではありますが、熱中症にも気をつけながら学校生活を送りましょう。

生徒会活動始動

1年生を迎えての生徒会専門部会が6月10日に行われました。それぞれの今後の活動内容は、16・17日朝のサイレントタイムで放送を通じて皆さんに伝えられました。特に生徒会本部5名の人達が校長室を訪れ、自己紹介後に、生徒会の目標について語ってくれました。生徒会は、一部の生徒だけのものではなく、みんなで創り上げていくんだということも忘れないで下さい。



<目 標>

- ・一人ひとりが思いやりの心を持ち、決まりを守って生活する。
- ・生徒全員がけじめをつけ、楽しく過ごせる学校にする。
- ・あいさつのできる学校にする。

